

特集「SDGs の医業への活かし方」

著者：小野瀬由一

(公益社団法人日本医業経営コンサルタント協会本部監事・
東京都支部「医業 SDG s 経営研究会」代表)

【シリーズ3】日本政府の SDGs への取組み

日本政府は SDGs が採択された国連サミットの翌年 2016 年には、首相官邸に SDGs 推進本部を設置し、日本の SDGs 実施指針の策定を始めました。

2016 年 12 月第 2 回 SDGs 推進本部会合では、日本の SDGs 実施のための 8 つの優先課題として、1) あらゆる人々の活躍の推進、2) 健康・長寿の達成、3) 成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション、4) 持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備、5) 省・再生可能エネルギー、気候変動対策、循環型社会、6) 生物多様性、森林、海洋等の環境の保全、7) 平和と安全・安心社会の実現、8) SDG s 実施推進の体制と手段が決定されました。

最新 2023 年 SDGs アクションプランでは、医業に直接関係する「②健康・長寿の達成」の日本政府の具体的施策として、①ユニバーサル・ヘルス・カバーレッジ (UHC) の達成に向けた取組推進、②グローバルヘルス・アーキテクチャーの構築・強化や新たなヘルスイノベーションの促進、③将来の健康危機に備えるための強靱かつ持続可能な保健システムの構築、④ワクチン・治療薬等の公衆衛生に係る研究開発の推進や日本版 CDC の創設による司令塔機能の強化、⑤低中所得国の公衆衛生水準及び医療水準の向上や新たな資金メカニズムの設立、⑥世界の人々の健康寿命の延伸、活力ある持続可能な社会の実現、⑦産学官等連携の下、健康無関心層も含め、誰もが自然に健康になれる食環境づくりの展開等が提示されています。

また、「2)健康・長寿の達成」に向けた各省庁の 2023 年施策では、【内閣官房】は「アジア健康構想及びアフリカ健康構想の推進」等、【外務省】は「ASEAN 感染症対策センター設立」「UHC2030 を通じた UHC の推進」等、【文部科学省】は「新興・再興感染症研究基盤創生事業」等、【厚生労働省】は「データヘルス改革の推進」「健康的で持続可能な食環境づくりのための戦略的イニシアチブ」等、【経済産業省】は「国内の健康経営の推進」「医療産業の輸出を通じた新興国の医療への貢献」等が提示されています。

さらに、「3) 成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション」に向けた日本政府の 2023 年施策として、【内閣府】は「地方創生 SDGs の推進事業」等の継続により、30 自治体の SDGs 未来都市認定と自治体の SDGs 推進体制づくりを提示しています。

一方、【内閣府】では 2017 年から「ジャパン SDGs アワード」を創設し、優れた SDGs への取組みを行っている企業・団体等の表彰を行っています。

(【シリーズ4】に続く)